

今回のレポートでは、フロリダ大学の様子、自分の生活等について書いていこうと思います。ここで生活し始めて約1か月が経ちました。少しずつ生活にも慣れてきて、快適に日々を送っています。勉強は大変ですが現地で学べることは多く、とても楽しいです。

フロリダ大学はかなり広く、私はまだ一部分しか行ったことがありません。100 くらいの学部専攻があり、多くの建物があるので初めて来たときはびっくりしました。授業の教室間の移動をバスでする学生もいます。図書館はいくつもあり、多くの学生が利用しています。大学内の Ritz Union という建物には大きなブックストアがあり、そこにフロリダ大学のグッズなどがたくさん売られています。多くの学生が大学のグッズ（服や帽子、カバンなど）を身に着けています。フロリダ大学のシンボルはワニなので、至る所でワニの銅像や絵などを発見することができます。学内の川には本物のワニもいるようです。ダイニングホールやファーストフード店、カフェなどはいくつもあり、毎日とても賑わっています。



日常生活についてですが、私は Weaver Hall という学生寮に、ルームメイトと一緒に住んでいます。彼女を含め、7、8人の同じフロアに住んでいる学生と仲良くなり、よく一緒に出掛けています。アジアショップも友達がよく連れて行ってってくれるので、日本食や調味料などほとんど何でも手に入ります。私はミールプランには入っていないので、基本的に自炊をしています。フロア全体の共同キッチンですが、定期的に清掃もされるので、割ときれいです。友達と一緒に料理をしたり、話したりするのは私の一日の中で一番好きな時間です。外食は日本よりも値が張るので、自炊はかなり節約できると思います。授業は対面授業を3つ、オンライン授業を1つ受けており、一回の授業は50分ですが週に1つの授業が3回あります。月、水、金は授業があるので、朝早めに起きて、歩いて教室に行きます。寮からクラスルームまで15分くらいで着くのでとても便利です。授業の合間に昼ご飯を食べますが、

授業日はたいてい Krishna Lunch という約 500 円程度で食べられるランチを食べます。中心部の広い公園で提供されていて、みんな芝生やベンチに座ったりして、食べています。メニューは日替わりでとても美味しいです。昼食の後はまた授業を受け、その後は寮に帰ったり、図書館に行ったりして勉強をします。授業がない火曜と木曜は、ジムに行ったり、勉強をしたり、自由に過ごしたりします。ジムはキャンパス内のバスに乗って 15 分くらいで、学生は無料で利用できます。とても広くて快適です。

授業の課題の量は、授業によって異なりますが、私が受けている“Hospitality Management”の授業は特に課題が多く、大変です。しかし、島根大学にはない授業が受けられるのでとても楽しいです。学生のレベルも高く、主体的な姿に刺激を受けます。授業で友達を作ると、質問などもしやすくっていいと思います。

フロリダは思っていたよりも寒く、ジャンパーやマフラーが必須です。朝はマイナスの気温になるときもあります。昼間との気温差が激しい日も多いです。コロナの蔓延もいまだ収まらないので、よりいっそう体調に気を付けながら過ごしていきたいと思います。

